

香美町ならではの 教育の挑戦

■問い合わせ先 町教育委員会こども教育課

地域で育てる、子どもたちの多様な活動 ～香美町の部活動地域展開を進めます～

本町では、将来にわたり子どもたちがスポーツや文化芸術活動に親しめる環境を守るため、令和8年7月に「香美町部活動地域展開推進計画」を策定しました。今回は推進計画の主な内容と今後の取り組みの方向性についてご紹介します。



目指す形は「ハイブリッド方式」

今後の活動は「学校主体」から「地域主体」へと段階的に展開していきます。本町では、以下の2つの形を組み合わせた「ハイブリッド方式」を基本とします。

- ・地域連携型：既存の部活動＋外部指導者・複数校による合同部活動
- ・地域展開型：学校から独立した地域のクラブチーム

※まずは「休日の活動」から、準備が整った種目より段階的にスタートします。

今後のスケジュール

令和8年度秋以降

町ホームページや広報紙などで、指導者や地域クラブの募集・登録に関する情報を随時お知らせします。

令和9年度

一部の種目でモデル事業を実施します（各種支援制度を検討）。

令和10年度夏以降

休日の活動から、段階的な地域展開を本格的に開始します。

皆さんの「ギモン」にお答えします

問：指導者になる条件は？

答：教員免許や公認指導者資格などは必須ではありません（大会などで必要な場合を除く）。町の研修を受講した上で教育委員会が認定します。

問：参加費や運営費は？

答：クラブごとに保護者と協議して決定します。経済的に厳しい世帯への支援制度も検討します。

問：学校の施設利用や送迎は？

答：活動場所は原則クラブが決めますが、学校施設の優先利用を検討します（常時利用の保障はありません）。移動は原則、各家庭での対応となります。

問：大会やコンクールへの影響は？

答：町認定の地域クラブは、中学校体育連盟の大会や吹奏楽連盟のコンクールに参加可能です。

※部活動の地域展開に関する情報は町ホームページ（右の二次元コード）をご覧ください。

香美町 部活動地域展開推進計画 ～地域で育てる、子どもたちの多様な活動～

【背景と課題】

- なぜ地域展開が必要なの？
- 少子化による生徒数減少（単独校でのチーム確保、チームの維持が困難）
- 教職員の長時間労働（働き方改革の推進）
- 子どもたちのニーズの多様化
- 子どもたちの思いは様々（大会に出たい、楽しく体を動かしたいなど）

このままでは、香美町の子どもたちの活動機会が失われてしまう！

【香美町地域クラブの創設】

- 多様なスポーツ活動の推進
- 既存のスポーツ団体、文化芸術団体、新規クラブ、合同部活動
- 香美町地域クラブとしての認定制度
- 指導者への報酬、地域指導者を募集
- 学校施設の円滑な開放・貸出の確保
- 教職員の労働環境改善への配慮
- 希望する先生は「一歩先」として地域指導者へ参加可能

【めざす姿】

- 香美町がめざす新しいカタチ
- 将来にわたり、子どもたちがスポーツや文化芸術に親しめる環境を守る！
- 学校の「部活動」から、地域が主体となる「地域クラブ活動」へ転換
- 地域の自主的な学習・活動（運動・芸術）

【香美町の展開モデル（基本方針）】

「休日からの段階的展開×ハイブリッド方式」

- 方針①：まずは「休日」からスタート！
- 平日＝学校の部活動（従来の通り）
- 休日＝地域クラブ活動（外部指導者・地域人材が指導）
- 方針②：柔軟な「ハイブリッド方式」を採用！
- ＝「地域連携型」・「地域展開型」を併用！
- 今の部活動をベースに、外部指導者が入る形
- 【地域展開型】 学校から完全に切り離し、地域のクラブチームで行う形

【今後のスケジュール】

「令和10年度に部活動地域展開を実施」

- 令和8年度（準備・開始期）
- 令和9年度（モデル事業実施期）
- 令和10年度（本格実施期）
- 第一歩を踏み出し、休日からの活動を開始！
- 準備を進め、平日活動も開始！
- 指導者・地域人材の確保・育成
- 指導者・地域人材の確保・育成
- 指導者・地域人材の確保・育成

【地域の皆様へ】

これまで中学校の部活動は、学校行事の一環として、教職員の専任的な指導の下、生徒の体力や技能の向上、異年齢との交流を通じて豊かな人間性の涵養など、多大な教育効果を果たしてきました。しかし、学校においても少子化が進む中で、これまでと同様の体制で維持することは困難を迫られています。

そのため香美町では、令和10年度に部活動を地域展開し、地域で中学生が少子化対策スポーツ・文化芸術活動に参加できる環境を整えることを目指します。

